

往還祭り 10月9日

往還祭りも本年で3回目になります。1回目は夕方遅くまで続け、盆踊り、フィナーレとして花火打ち上げを行いました。昨年2回目は、昼食を一緒に食べていただく時間帯に設定しましたが、暑くて風が強かった。今年は昨年一昨年の反省の上に様々な対策を講じていま



した。残念ながら、雨天にて施設内で行うことになりました。当然、一回目から、雨天バージョンも用意してありました。室内で行う「往還祭り」も良かったのではないかと。ご利用ご高齢者とご家族、職員がじっくり接する場を確保できました。

「みたらし団子」を本年も四日市の「ことよ」から仕入れました。川越のスーパーサンシで売っている「みたらし」も美味いが「ことよ」の方が旨い。ところで、「みたらし」の由来ですが、京都葵祭りの際、主役の「斎王代」が禊を下鴨神社「みたらし池」で行います。この池から湧き出す水泡を見て似ているということで奉納される団子に「みたらし団子」と名付けられたと言われています。下鴨神社近くにそれを受け継ぐ団子屋が在ります。ちなみに、「みたらし」は漢字で「御手洗」です。また、葵祭り主役「斎王代」の「斎王」は三重県明和町「斎王まつり」の「斎王」です。詳細には、明和町は斎宮。京都は斎院。



施設内でご家族と一緒に食事をしました。



職員によるハンドベル演奏



川越町子ども太鼓のメンバーに来ていただきました。